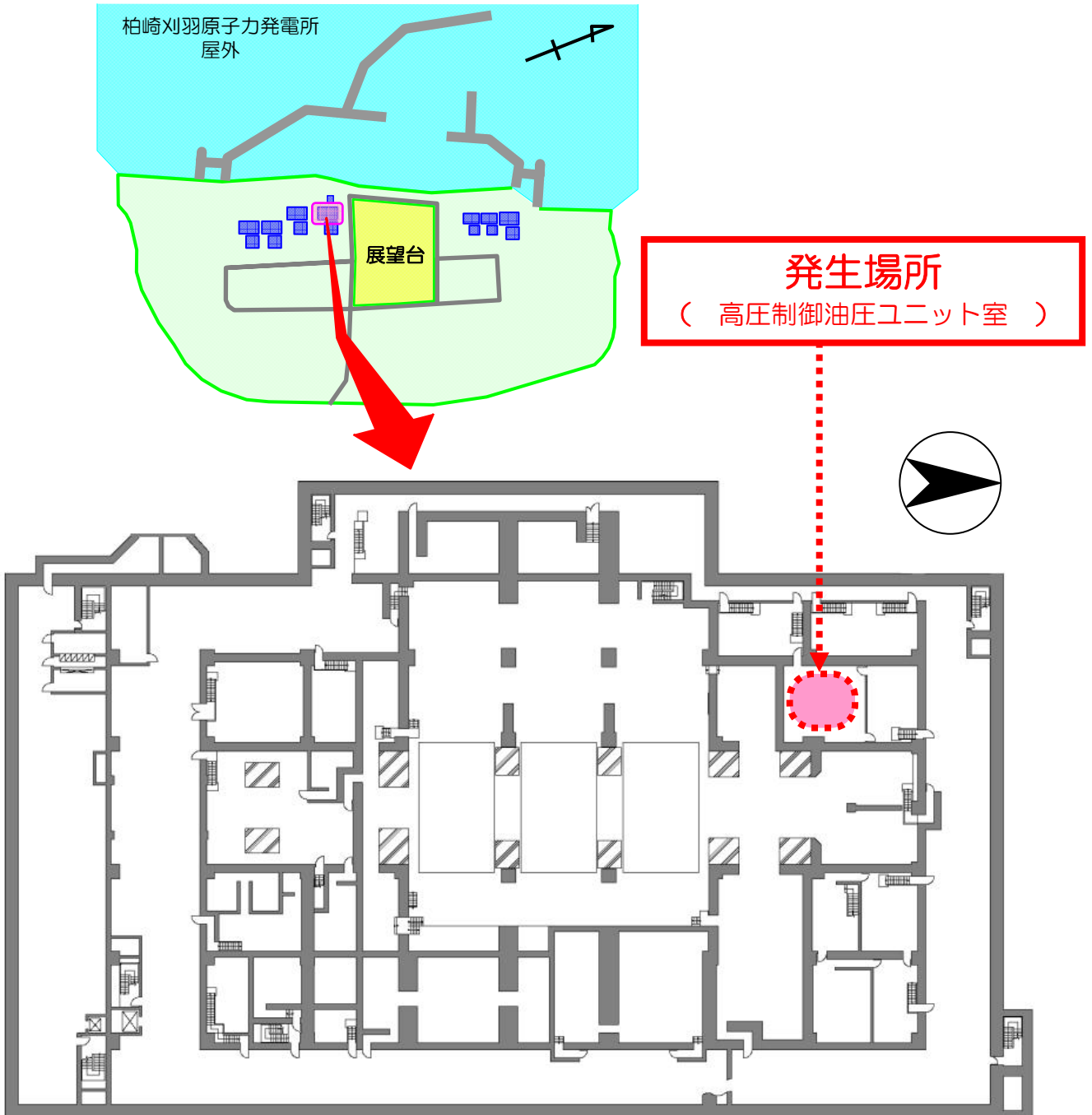


平成 22 年 12 月 2 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

区分：Ⅲ

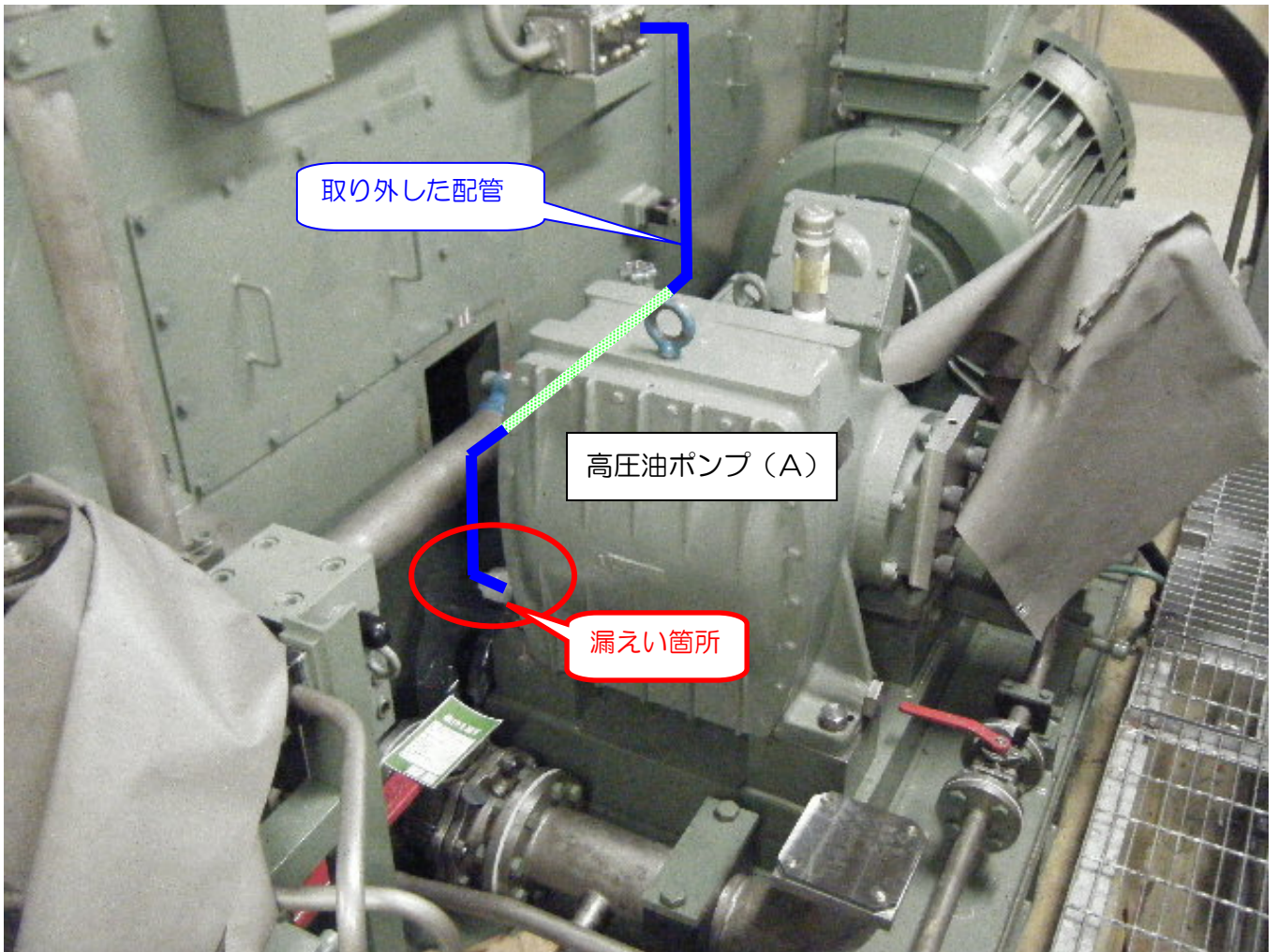
場所	4号機	
件名	タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況)</p> <p>定期検査中の4号機において、平成22年12月1日午後11時45分頃、タービン建屋地下3階(管理区域)の高圧制御油圧ユニット*室において、本格点検のために分解して点検を行っていた高圧油ポンプ(A)の配管接続部の開口部養生部から油がポンプ台座部分の堰内に漏れていることを、現場パトロール中の当社社員が発見しました。</p> <p>油の漏れはすでに停止しており、堰内に漏えいした油の量は約140ミリリットルでした。</p> <p>この油は高圧油ポンプ(A)内に残留していた油で、漏れた油は拭き取りにより処理いたしました。</p> <p>(安全性、外部への影響)</p> <p>漏えいした油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 高圧制御油圧ユニット タービンを制御するために使用している高圧油を供給する装置。</p>	
安全上の重要度/損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>原因を調査した結果、開口部の養生テープの巻き方が不十分であったことがわかりました。当該開口部については、取り外していた配管を接続して、復旧しました。</p>	

【添付1】



柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋 地下3階

【添付2】



4号機 高圧制御油圧ユニット室 高圧油ポンプ（A）の油漏れ箇所